

令和7年5月定例記者会見要旨

開催時間 令和7年5月27日（火）午前10時30分 302会議室

（総務部長） 皆さんおはようございます。
常日頃より大変ありがとうございます。只今より5月の定例記者会見を始めます。

（市長） 5月の期間もいろんなイベントが開催されまして、各報道各社の皆さんには、いろいろ取り上げていただきましてありがとうございました。

○連休（4/26～5/6）における観光動向

- ・観光案内所 駅前の調査 643人
- ・霧ヶ峰自然保護センター 968人
- ・高島城 3,896人
- ・間欠泉センター 4,462人

○諏訪市犯罪被害者等のための支援に関する協定書の調印式

- ・6月2日（月）午前10時30分 諏訪市役所 5階 特別応接室
- ・長野県弁護士会様と「諏訪市犯罪被害者等のための支援に関する協定」の調印式を開催します。

【協定内容】

- ・諏訪市民が犯罪による被害者となった場合、住民から法的支援や報道対応の相談を市が受けた際、市は長野県弁護士会に弁護士の紹介を依頼する。
- ・長野県弁護士会は市に対し、犯罪被害者支援に精通した弁護士を紹介する。
- ・市は紹介を受けた弁護士を被害者に通知する。
- ・弁護士による支援対象は「訴訟問題、賠償問題その他の各般の問題の法律上の指導及び助言」「報道機関による取材への対応」等

【協定先】

長野県弁護士会

○諏訪市議会 定例会

- ・招集日：6月10日（火） ※日程は議会運営委員会にて決定

○諏訪湖スマートインターチェンジ開通前見学会

- ・7月6日（日）午前10時30分 諏訪湖サービスエリア（上り線）へのアクセス道路

○市政懇談会 「ゆかり市長とまちかどトーク」

- ・7月29日（火）午後7時00分 諏訪市役所 5階 大会議室
- ・要約筆記によるスクリーンへの写し出しを行います。
- ・託児サービスを実施します（6か月～小学校就学前の子ども）。希望する人は、6月30日（月）までに電話で申し込んでください。
- ・市公式YouTubeチャンネル（@TheCityofSuwa）でオンライン配信を行います（チャット欄から意見交換に参加できます）。

○その他

・市内で活動する団体・グループ等のもとに市長が伺って相談を行う「ゆかり市長の出張トーク」を開催しています。自由なテーマで意見交換ができますのでこちらもご利用ください。

(総務部長)

それではこちらからのプレゼンテーションは以上となります。

ここからは、記者クラブさんの方にマイクを移らさせていただきまして質疑等お願いしたいと思います。

○市政総会について

(記者) 市政懇談会について、今まで各地区の公民館で行われていたということで自分の地区に、市長が来てくれるから参加しようという方もいたかと思います。そういう方々に対してその機会の確保というのはどのようにお考えでしょうか。

(市長)

今までそうした方も確かにいらっしゃったと思います。しかし、アンケート結果などを見ると、参加してくださる皆さんが地区の役員などに固定されてしまっている傾向がありました。そのような状況下で、個人で来ていただいている方からなかなか発言し難いといった意見もいただいております。数年前からゆかり市長の出張トークというのを始めまして、自分たちの仲間うちの会に、或いは団体の皆さんが指定する場所に市長が出向くわけです。そうすると何となくリラックスした雰囲気の中で仲間うちだと意見が言いやすいというご意見をいただいております。その出張トークにエントリーをしていただいて、市長が皆さんの身近なところに出かけていってご意見を伺いますというこうした形に徐々に移行してきている段階です。これからも皆さまのお声を聴かせていただこうと思っています。

○諏訪湖スマートＩＣについて

(記者) 今日、諏訪湖スマートＩＣの関係で見学会が行われます。それとは別に８月１５日の花火大会の折に中日本高速道路の方で諏訪湖スマートＩＣの流入の部分を午後３時から花火終了まで行わないという規制をするとのこと。諏訪湖サービスエリアにおいては、同じ時間帯に閉鎖をするという方針になりましたが、この点について、市の方で呼びかけるようなことがあればお伺いしたいと思います。

(市長)

昨日、ＮＥＸＣＯ中日本からの発表になりました。

この件については、７月２７日の開通後２週間くらいで花火大会という大イベントが控えておりまして、かねてから内部で検討をいただいております。その結果が発表されたと受けとめております。今までもスマートＩＣが設置される前の諏訪湖サービスエリアは、規制がされておりました。本来利用したいトイレ休憩とかショッピングの方たちが、車で入れないなどの混乱を回避するためにクローズドとしていたと思います。従いまして、８月１５日にサービスエリアが閉鎖になるということについては、皆さんのご理解をいただけていると思っております。また、アキッパの実施により駐車場に入るための車の列は短くなり、待機時間の長さや交通の渋滞が随分解消されてまいりました。スマートＩＣを使って入ってきてくださることによって、更に渋滞というのは回避できる予測ができます。逆に、もしこれを閉鎖しなかった場合に諏訪湖サービスエリアの渋滞が、そのエリア内だけで収まらずに本線に延びていったときに衝突事故で

すとか、事故が起こる懸念が増えます。そのことは、高速道路会社とすれば一番避けたい状況になりますので、出口の封鎖についても理解していただけたらと思います。帰りに入口をオープンにさせていただく、これは私も、ぜひスマートＩＣの効果を実感いただくために許可してもらえないかという要望を出しておりました。終わった後に一気に諏訪周辺或いは湖周から、高速道路に乗りますが、その乗り口が今まで岡谷・諏訪の２ヶ所でしたが、このスマートインターチェンジが開くことによって３ヶ所から入っていくことができます。これは車の流れが早くスムーズに動けるということを想定しました。花火大会が終わった後は入れるようにしてもらおうということになりましたので大変うれしく思っています。このことにつきましては、パンフレット、冊子、諏訪花火大会のプログラム、それから交通規制図、これらにも記載をいたしまして周知徹底を図っていきたいと思っています。

○文化センターについて

（記者） 緞帳の見納めの話が出ましたが、この間の市川笑野さんの講座の時に緞帳以外にも所作台など、いろいろと非常に重要なものがあると現役の歌舞伎役者からお話がありました。諏訪市として改修後もそれらを保存したり、使っていくという考えでよろしいですか。

（市長）

文化センターの建物自体、これが有形登録文化財の指定になって10年が経過しております。そのこともあって改修をして保存活用していくという方針を定め準備を進めてきました。従いまして文化庁とやりとりをしながら文化財として保存すべきところ、それから手を加えていいところ等々、区分けをしながら基本設計それから実施設計と進めてきました。附属品につきまして桧舞台ヒノキの板が、今回非常に久しぶりに使っていただいた大事な備品であり、貴重なものだということを市川笑野さんにおっしゃっていただきました。メンテナンスをしながら保存して活用していく予定です。ただ緞帳だけは、以前にも申し上げましたとおりクリーニングをするにしてもその前に取り外す段階で現状の状態を維持できない状況でしたので一部をタペストリーとして掲示をしながら舞台は、オペラカーテンに変更をしていく予定です。

（記者） 関連というか改めて市川さんは、吉田五十八の建築としては、おそらくもうここしかないだろうというようなことをおっしゃられて、この文化センターを生きた小屋として使って欲しいというふうに訴えられていましたが、そのことに関して改めてお考えをお聞かせください。

（市長）

吉田五十八さんという人は、建築家において今までに7人受章されました文化勲章を受章した建築家です。その芝居小屋として銀座の歌舞伎座をはじめ、明治座など幾つも手がけられましたが完全な状態で残っているのが諏訪市文化センター一箇所になってしまいました。ほぼ原型の形で残ってきているのが文化センターであるという評価をしてくれました。

その情報を当市の教育委員会も、すでに保存文化財の指定を受けたときから専門家の皆さんとともに共有をしておりましたのでこうした流れとして準備を進めてきたところです。エレベータをつけたり、避難所としても活用するための耐震化が必要となります。エネルギーの供給に関しては、建屋の外に新たなエネルギー供給源を作るとか、文化庁の皆さんなど専門家とやりとりをしながら実施設計ができておりますので予定どおり改築をとげて新たな文化センターを2年半後の令和9年度中には、お披露目できるよう順調に進めてまいりたいと思っております。

○立石公園について

（記者）立石公園でオーバーツーリズムのような状況が見られたというお話がありました。長野日報の読者の方からもトイレに関するご要望などもあり、その状況についてお考えを伺いたいと思います。

（副市長）

トイレのどのようなところが読者の方は気になったのでしょうか。

（記者）臭いということです。ちょっと入りづらいということでした。

（市長）

立石公園は、眺めの良い公園ということで人気になってまいりましてたくさんの方が訪れてくださることを大変うれしく歓迎をいたしております。しかし、オーバーツーリズムに対する対策や駐車場の問題、そしてトイレにつきましてもキャパシティの問題を含めて、皆さんからそうしたご意見があるということは、素直に受けとめたいと思います。

私が市長になって一度改修をしましたが、皆さんにご満足いただける状況になってないということだとお聞きをいたしました。土地の面積の制限もあり、どのようにそうした声に対応していけるかということ、施設の大きさに比べて訪れる方が非常に多いという状況になってきた近年の変化を受けとめながら、今後を見据えてどんな工夫ができるか検討してまいりたいと思います。

（記者）こちらからは、以上です。ありがとうございました。

（総務部長）

以上をもちまして5月の定例記者会見を終了します。どうもありがとうございました。